

県内工場や車庫損壊

山梨県を襲った記録的な大雪は、県内の中小企業にも深い爪痕を残している。

笛吹市内の自動機械メーカーは雪の重みで工場が損壊、操業停止に追い込まれた。早期の事業再開を目指す。修繕費など大きな負担がのしかかる。経営者は「被害は甚大」と言葉少なに語った。

〈渡辺真紗美〉

「修繕費高額」「顧客失う」

省力化自動機械の設計などを手掛ける「日向精工」（笛吹市境川町寺尾）は大雪で工

場の屋根が崩れ、操業がストップしたまま。築30年の鉄骨造りの工場は約250平方

で、屋根は中央部分から崩落した。屋根を支えていた鉄柱は根元から折れ曲がり、四方の壁も内側に傾いた。無残な姿から、相当の量の積雪があったことが想像される。

「日に日に傾いている。いつ倒壊してもおかしくない」。新田英司社長（40）の表情が陰しさを増す。

新田社長は15日昼ごろ、工場の近隣住民から「工場で大きな音がした」と一報を受け、甲府市大里町の自宅から徒歩で向かった。工場内にあった加工機や取引先から預かっていた機械類は、フォークリフトで工場隣の倉庫に運び出した。7人の全従業員で点検、一部ぬれていたものの全部無事だったという。

依頼主のためにも、1日も早く操業を再開したいという新田社長。天災だからと言って、いつまでも待つてはくれない。得意先を失うかもしれないとの危機感はある一方だ。工場の解体に約200万円。新設に2千万円以上。再起に必要な費用が重くのしかかる。「被害は甚大。でも立ち止まってはられない」

中小経営 重い「雪禍」



雪の重みで屋根が崩落した日向精工の工場

|| 笛吹市境川町寺尾